

安曇野市青少年センター からみなさんへ 一人で悩まずご相談ください

誰にも相談できずに困っている児童・生徒の皆さん、子どものことで悩んでいる保護者の皆さん、一人で抱え込んでしまう前に、まずはご相談ください。

- 安曇野市青少年センター
市役所1階子ども家庭支援課内 Tel 71-2078
✉seishonen@city.azumino.nagano.jp
- 子どもと親の相談電話 豊科公民館内(19ページ参照)



大会での発表の様子はこちら
長野県将来世代応援県民会議 YouTube

Interview



少年の主張長野県大会 優良賞受賞

宮坂優希菜さん(三郷中3年)

9月に開かれた少年の主張長野県大会で、応募総数703作品の中から、宮坂優希菜さんの作品「推しと私が過ごす社会」が優良賞を受賞しました。インターネットでの誹謗中傷が原因で推しのアーティストが活動をやめてしまった出来事から、身体的・精神的に支え合う大切さを訴えた作品への思いを宮坂さんに聞きました。

今は、SNSやメールを利用すれば、気軽に思いを伝えられる便利な社会ですが、その便利さは時に人を傷つけることがあ

ります。推しへの誹謗中傷をきっかけに顔が見えない相手だからこそ思いやりをもったコミュニケーションが大切だと強く感じました。言葉の重みをもっと考え実際に人と会って話すのと同じように顔の見えない相手へ接したいと思います。「他人と比較せずに自分を磨き、物ではなく、人とのつながりで満ちることで自分自身も満たすことが出来る」。この主張を心に留め、残りの中学校での生活と、これからの受験や高校生活を充実させたいです。

※推し：他の人にすすめること。また俗に、人にすすめたいほど気に入っている人や物。「一主演ドラマ」大辞泉より

コラム 最新のニュースから

交通安全の心掛けを もう一度

踏切を渡る時は安全確認を

1月に塩尻市で下校途中の小学生が電車にはねられ死亡する事故が発生しました。踏切では止まり、電車が来ないこと、警報機が鳴っていないことを確認することを心掛けてください。警報機が鳴っている時や遮断機が作動したら踏切内に入らないようにしてください。

4月から自転車のヘルメット着用が努力義務化

4月からすべての自転車利用者へのヘルメットの着用が努力義務となります。ヘルメットは万が一の時に頭部への被害を軽減してくれます。大切な命を守るためにヘルメットを着用しましょう。

春は初スマホの季節 上手で安全な使い方の話し合いを

春は卒業・進学・入学の季節。それに伴い初めて自分のスマホを持つ人も多いと思います。特に高校生のスマホ所有率は9割といわれ、スマホは学生生活に欠かせないものとなっています。行動範囲が広がるなどのメリットがある一方、ネット依存やネットいじめ、犯罪にまきこまれる危険と隣り合わせでもあります。

スマホを購入する前に家族で話し合い、年齢や生活に見合った利用ルール作りが大切です。成長に合わせてルールを見直す時期やルールを守れなかった時のことも話し合い、スマホと上手に付き合しましょう。

正しく使う知識を学ぼう
全国統一スマホデビュー検定



「誰もが輝ける共生社会安曇野」を目指して計画案を答申

年齢や性別、性自認、性的指向、国籍、障がいの有無にとられない社会を目指す多様性を尊重し合う共生社会づくり計画を検討する市多様性を尊重し合う共生社会づくり審議会(尾基ゆみ会長)は1月24日、同計画案(令和5年(9年)を太田市長に答申しました。7月から審議会で検討された計画案は、目指す社会像に「誰もが輝ける共生社会 安曇野」を掲げ、男女共同参画・多様な性の尊重、多文化共生、ユニバーサルデザインの三つのまちづ

くりを柱に構成されています。尾基会長は、答申後のあいさつで「多様化する社会問題などを解決するため市をあげて取り組み、計画の期間内でも社会情勢の変化に応じて見直すことも必要」と話し、答申を受けた太田市長は「この計画がスタート地点。市職員はもちろん、市民の皆さんに理解していただくことが大切」とあいさつしました。市では、庁内推進本部会議で計画案を決定し、3月の策定を予定しています。



計画案を掲げる尾基会長(左)と太田市長(中央)と小松副会長(右)

「自然、文化、産業が織りなす共生の街安曇野」へ 後期基本計画案を答申

市政の基本となる総合計画を検討する市総合計画審議会(木村晴壽会長・松本大学総合経営学部教授)は1月26日、令和5(9年)度を計画期間とする後期基本計画案を太田市長に答申しました。

計画案では、目指すべき将来ビジョンを「自然、文化、産業が織りなす共生の街 安曇野」に改めるとともに今後5年間で重点的に取り組む「価値創出プロジェクト」が盛り込まれました。プロジェクトでは、「誰もが活躍する共生のまち」「選ばれ続けるまち、

安曇野」「AZUMINOブランドの発信」「文化・芸術中核都市の実現」「アウトドア・スポーツの聖地」の五つのテーマが設けられています。

木村会長は「前期基本計画からの継続性と社会情勢の変化に合わせた見直しのバランスをいかに取るかに注力した」と話しました。答申を受けた太田市長は、「計画は策定して終わりではない。本日を新たな出発点とし、市民一人一人の幸せのため全力を尽くしたい」と力を込めました。



計画案を太田市長に答申する木村会長(中央)と二村副会長(左)

表敬訪問

全国こどもチャレンジカップ第15回
全国大会チャレンジパフォーマンス(グループの部)
エアロビクス5位

8月27日に東京都で開かれた大会で上位入賞したA.C.NAGANOの皆さんが太田市長に結果を報告しました。(順不同・敬称略)

- 玉城杏彩(穂高南小6年)
- 原田ゆきの(穂高南小5年)
- 小林笑瑠(穂高南小4年)

